

高速道路無料化社会実験の影響と評価に関する研究

福岡大学工学部社会デザイン工学科 辰巳 浩, 堤 香代子, 増田 拓己

研究背景

- ・現在、実施されている高速道路無料化社会実験は全国の高速度道路の約2割で実施されている。
- ・無料化によって地元の公共交通機関や一般道路に何らかの影響があると考えられる。

目的

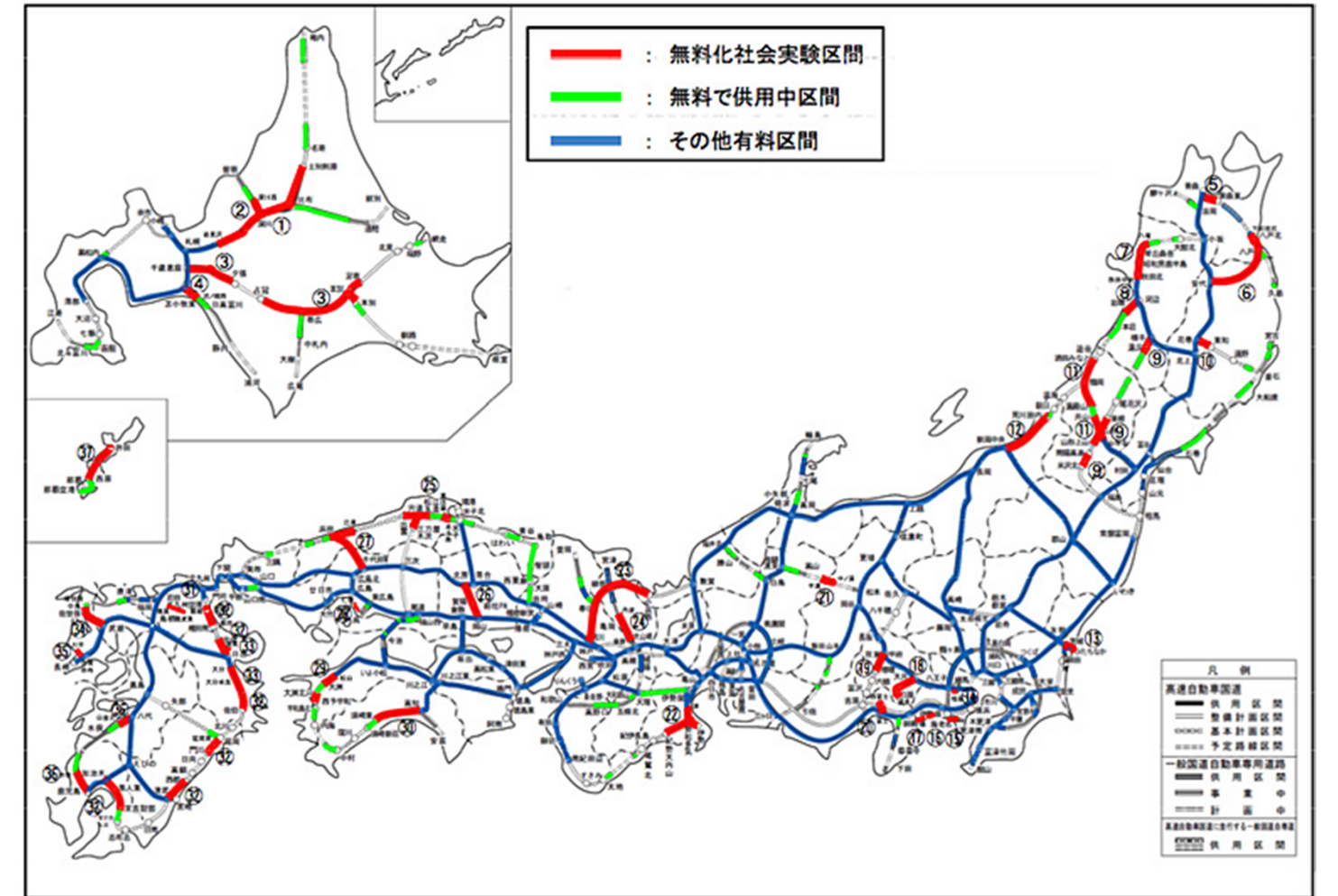
高速道路無料化社会実験が及ぼす影響について、実施前・実施後にアンケート調査を行い、その評価に関する検討を行っていくことを目的とする。

調査の概要

調査方法: 聞き取り形式のアンケート調査

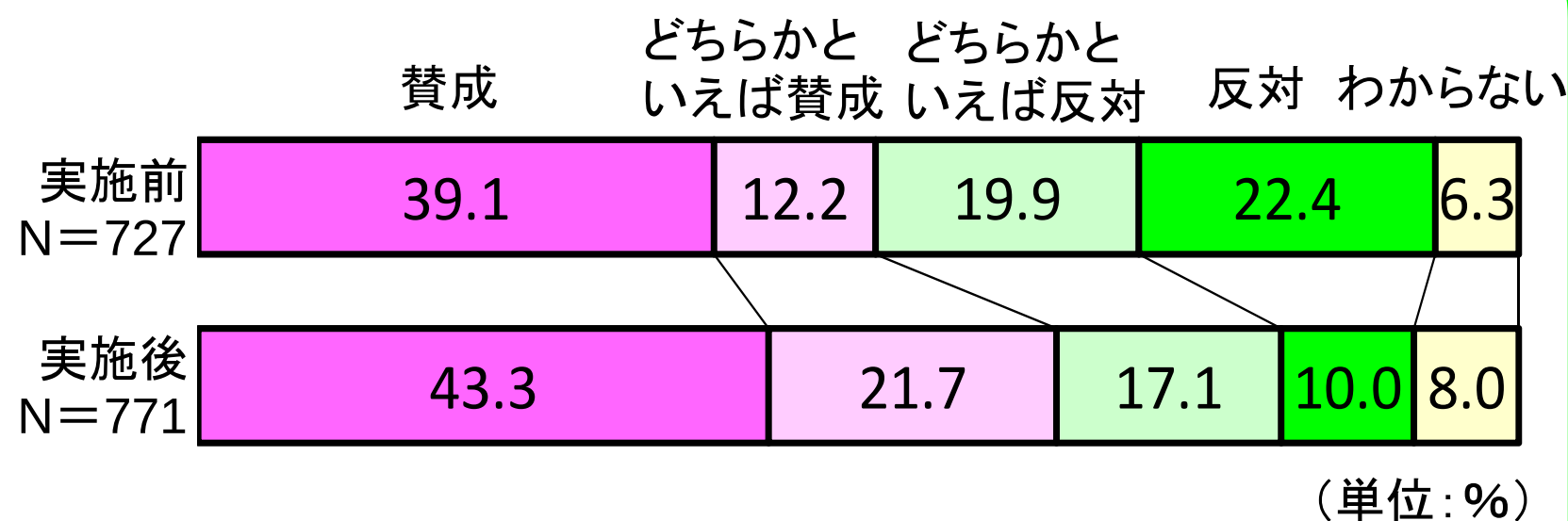
調査場所: 道の駅全8ヶ所(無料化実施前のアンケートでは口蹄疫の影響で宮崎の2ヶ所は中止)

実施機関: 九州大学、福岡大学、西日本工業大学、宮崎大学



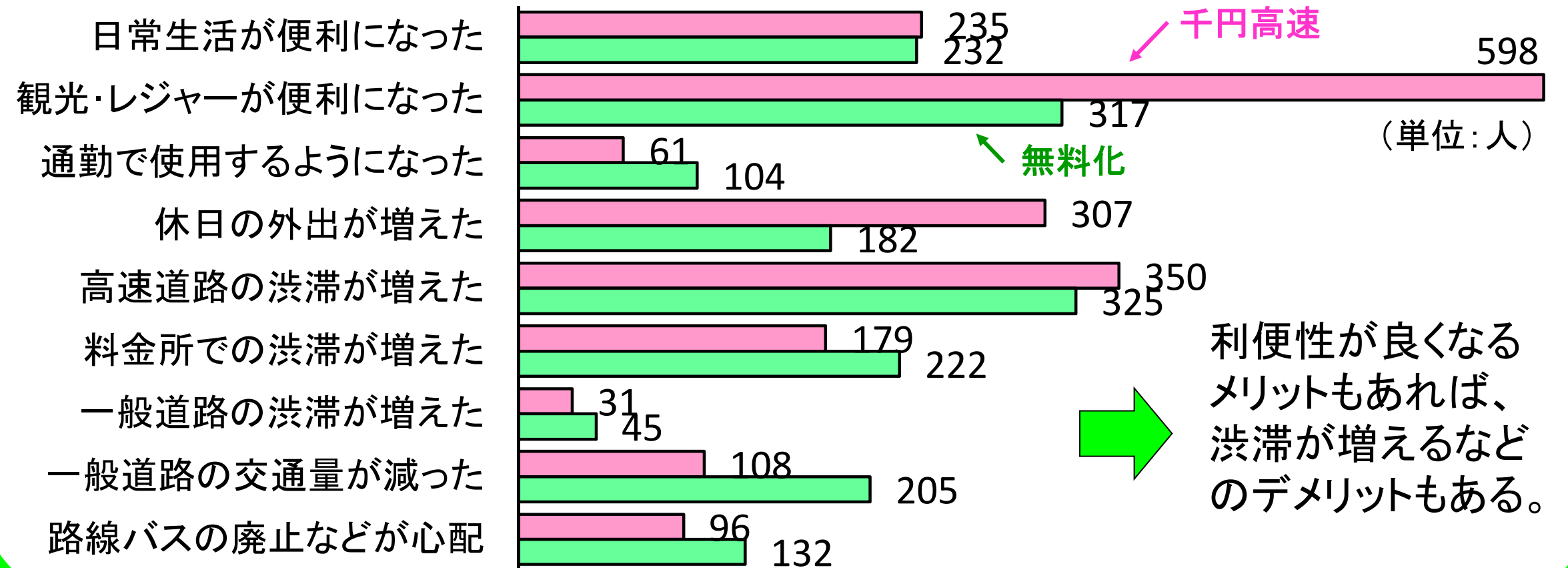
調査結果

無料化評価



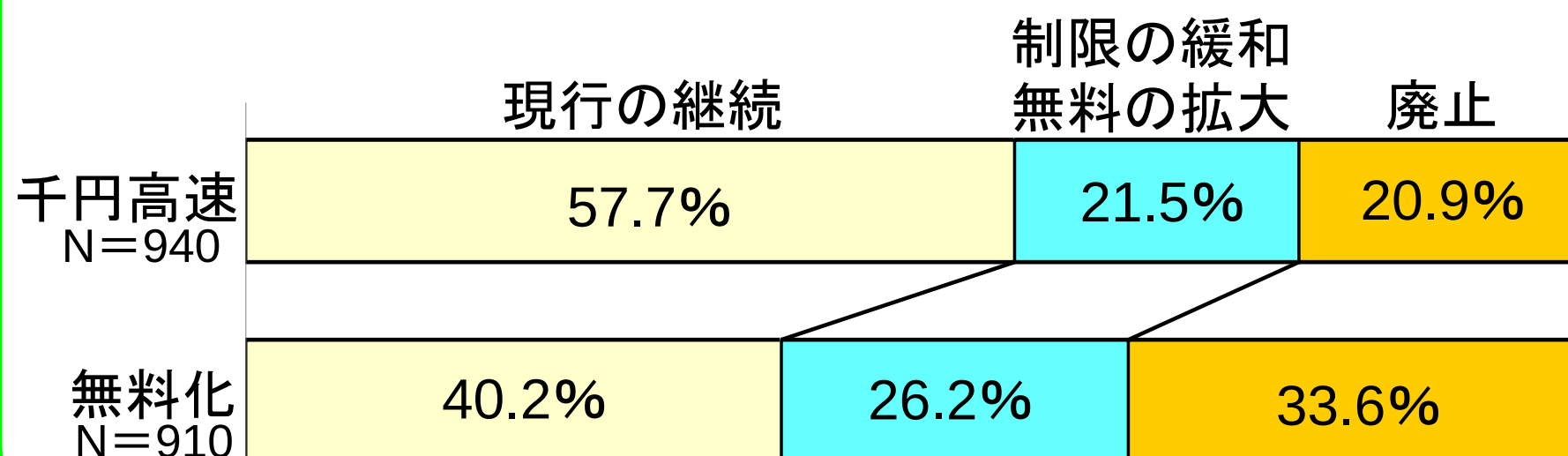
無料化実施前と実施後で無料化に対する考えに変化が表れていると考えられる。

千円高速・無料化の影響



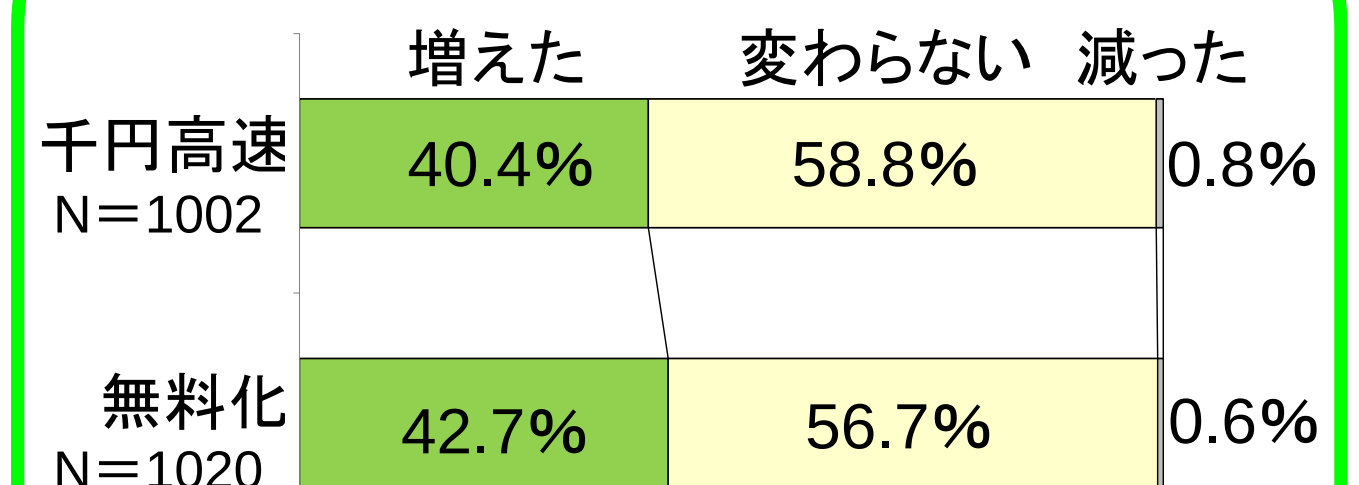
利便性が良くなるメリットもあれば、渋滞が増えるなどのデメリットもある。

今後の料金制度について



千円高速・無料化共に現行の継続との回答が多いが、特に無料化は廃止との意見も多いことから、今後も制度について検討していく必要があると考えられる。

高速道路利用頻度変化



まとめ

- ・無料化は実施前より実施後のほうが賛成との回答が多い。
- ・利用者にとって観光やレジャーが便利になっているが、高速道路で渋滞が増えていると感じている。
- ・休日上限千円は維持すべきとの回答が多いが、無料化は休日上限千円に比べると廃止との意見も多い。

休日上限千円と無料化は、観光旅行やレジャーが便利になるなどのメリットもあるが、路線バスの減便や廃止が心配されるなどのデメリットもあるので、今後も慎重に議論していく必要がある。

千円高速、無料化共に変わらないとの回答が最も多い。しかし、増えたとの回答も多く、減ったとの回答を圧倒的に上回っていることから、千円高速の導入、無料化の導入によって高速道路の利用者が増加していると考えられる。

